

岐阜県
かいづ
海津市

移住定住のトリセツ

移住定住された方の体験談や、地元の方のアドバイスが載ってます。

暮らし編

愛知県から

移住しました



起業編

海津で
起業しました



子育て編

海津市で
一軒家

建ちました♥



ジュエリー
デザイナー
です

就労編



地元編

海津市
出身です

名古屋市
出身です



10年以上前、愛知県から移住されたご夫婦を訪ね、移住された経緯や暮らしぶりなどをお一人伺いました。お邪魔したお住まいは、空き家をリバーサイト「ラザなでしこ」でよく走っていて、良いところだなあと思っていました。

Q. 早速ですが、海津を知ったきっかけは?

【旦那様】引っ越しを考えていたからです。前職を辞めたことと、子供から手が離れて夫婦2人身軽だったのです。羽根谷だんだん公園や木曽三川公園、平田リバーサイト「ラザなでしこ」でよく走っていて、良いところだなあと思っていました。

Q. 引越しの候補は他にありましたか?

【旦那様】サイクリングで何度も行ったことのある海津、三重県、滋賀県の琵琶湖辺りなどです。自然豊かな環境を選びました。

Q. 移住後のお仕事は?

【旦那様】自宅でパソコンを使った仕事をしています。海津に移つてから見つけた仕事です。東京の会社で在宅勤務ができる仕事を紹介していただきて、愛知県に住んでいた時よりも知り合いが増えました。講座の費用もピックリするくらい安い安くて通いやすいし、戻って自宅で仕事をしています。(笑)

Q. 現在の趣味は?

【奥様】海津市の生涯学習講座の教室に通う事です。最初は英会話をやっていて、そこで出来たお友達の紹介で絵画やピアノの教室にも参加して、愛知県に住んでいた時よりも知り合いが増えました。講座の費用もピックリするくらい安い安くて通いやすいし、戻って自宅で仕事をしています。(笑)

Q. 現在のお家について教えてください。

【奥様】ここは空き家をリフォームした家なんですね。住む場所を決める際、何軒か見学したんですけど、2階から山と川と田んぼが見える所が気に入っています。この家に決めました。耐震基準に満たない建物だったので、市の補助制度を使い、耐震診断を行つて工事ができました。憧れだった新ストーブも都会では煙の関係で、実現できなかったと思います。今では、かわいいワンちゃん2頭も一緒に、のびのびと暮らします。今後も活動していきたいです。

Q. 地域の付き合いはどうですか?

【旦那様】地域の自治体に加入していますが、自治体活動は昔に比べると簡素化されて、祭りなどの行事くらいです。皆さんに親しく接して頂いています。皆さんが思っている田舎のイメージより、結構便利だと思いますよ。スーパーもドラッグストアもコンビニもありますし。運転できなくなつても大手スーパーが配達してくれるから買い物についての不安もないですね。

Q. 不便な事はありますか?

【奥様】電車・コミュニティバスは本数が少なく、行き先も少ないところですかね。ただ新幹線はバスで行けるので便利ですし、名古屋も割と近いです。半には東京駅に着きますよ。長島駅の駐車場は1日300円ですし(笑)。

Q. オススメの観光地は?

【旦那様】羽根谷だんだん公園です。四季の景色が素晴らしいです。



ライブでその腕前を披露しているドラムセットの前でパチリ。



広いお庭でワンちゃんとボールで遊んでいるところをパチリ。堀から覗く養老山脈が素敵。



ワンちゃんがお出迎え～♥



趣味の域を超えた腕前の絵画。



趣味のサイクリングがきっかけで
移住を決めたご夫婦の
ご自宅に伺いました。

海津市で生まれ育つて、社会人になってからは、東京で企業に就職。その後、独立して事業経営と一�のコンサルタントティングの会社を経営され活躍しています。そして海津で柿酢作りを新たに事業としてはじめ、何と東京と海津で二つのお仕事をされています。はじめて経験される柿酢作り。苦労話なども含め、再び暮らす海津についてもお聞きしました。

Q. 現在のお仕事について教えてください。
東京と海津、それぞれで仕事をしています。
東京は、10年前に立ち上げたコンサルティングの会社で、事業経営のコンサルティングや一ITプロジェクトのマネジメントの仕事をやっています。海津には何年か前に戻つて来て、柿酢を作る事業を

2業編

東京の仕事と別に、
地元海津で柿酢作りの事業を
始めた方の工場に伺いました。

Q. 柿酢を作ろうと思ったキッカケは?
祖父の代から柿畠があつたんですけど、耕作放棄地になつていて、6年くらい前から復活させようと思つて、東京からたまに帰つてきて柿畠の世話を始めたんです。

中で人気で盛り上がっているし健康ブームだし。ここで採れた柿を発酵させて酢を作つたら、きっと美味しいかも。そう思ったのがキッカケでした。

ただ、柿酢事業は地域の産業を活性化させる最初の事業として成り立つんじゃないかと思い、決意しました。

てきただんで、そういうものは慣れていると思うてたんですけど、計画を作ると実際やるのとは全く違つて。お金の面や場所探しはもちろん、柿酢に使う原料の柿の仕入れや、設備の設計から購入先まで、何をするにもゼロから調べるところからはじめなければいけませんでした。

柿酢はアルコール発酵するので、資格がないと作れないんです。税務署管轄のもろみの製造免許を取りなくてはいけなくて。でも経験のない私が作るつて言つても簡単には許可してくれないので、そこも苦労しました。

バックグラウンド無しにゼロから事業を立ち上げるのって、ほんと大変だなって実感しました。(笑)

Q. 東京の方の仕事は今もされていますか?

今もやっていますけれど、ほとんどこっちですね。事業の立ち上げが思つた以上に大変なので、定期的な会議はskypeを使ったインターネットで東京と繋いで行つたりしています。新しい案件を入れないようにして、東京の仕事は少なくしています。特に今は柿酢作りに専念したいのです。

製品化は先です。柿が持つ自然の発酵力を利用した昔ながらの製法を採用しているので、仕込みから最低10か月くらいはかかります。

今は完成にむけて最後の工程を行いつつ、まだまだ世の中に認知されていない柿酢を知つてもらうための「プロモーション活動の方も始めています。製品化も含め、たくさんの方の協力を得ているので、上手く軌道に乗る事を願っています。

リターン移住に近いんですけど、ずっと海津にいるわけでもないので、今ちょっと流行っている2拠点生活かもしれないです。

東京で仕事があって、でも田舎で趣味を楽しむ拠点があつて、その2拠点で人生を楽しんでいるみたいなスタイルですかね。私は趣味ではないんですけど。海津から東京へは2時間ちょっとで行けるので、会社から離れた首都圏に住んで満員電車で通勤する大変さに比べたら、岐阜から東京に出るのもそれほどどう苦にはならないですよ。近いものです。

「東京だから海津に貢ぐてどう思ひまいか? 社会人になつてからは、ほとんど東京だったんだ。改めて海津を見ると良さに気が付きます。空気一つにしても、空が青いなあつて思うのも。人と接拶を交わすにしても、東京ではないことだなあ

逆に東京の人には、既存のお客さんには迷惑かけないのに、なんに戻つて柿酢をやるの？ついでいう感じはありました。反対はされなかつたけど、もつともつと慎重に考えて決めることがなり言わされました。

Q. 海津のオススメは？

自然です。空気の良さとか、水のおいしさには改めて感動します。

一番好きな場所は津屋川です。近くにはハリヨといつ天然記念物の生息地になつてゐる、綺麗な池があつて、そこを歩くのが一番好きですね。

ちなみに、うちの柿酢のブランド名には、このハリヨという名前をお借りしています。ハリヨが育つ綺麗な水がある海津で育つた、美味しい柿で作った柿酢ですって広めようと思つて。



今年で移住して2年目、ジュエリーデザイナーとして12年の実績をお持ちの方です。

現在海津市南濃町に土地を購入し、店舗兼、工房兼、住居として新築で建てたオーナー。シンプルかつ独特な外観。工具やギター、ライブスペースにカフェまで完備したオシャレな店舗にお邪魔し移住しています。

Q. お仕事の内容について教えていただけますか?

お店の名前は、「あとりえ やわらか」と言います。現在平日は名古屋の会社で仕事をして、土日は本業のジュエリー製作が立て込んでいなければ、店舗としても営業しています。主に海津市を拠点に活動をしています。

Q. お店を拝見しました。何屋さんですか?

基本はジュエリーデザイナーの工房として使っていますが、併設してライブスペースがあったり、カフェがあったり、ギャラリーがあつたり色々です。場所も分かりにくいのですが通りから見かけて気になつて見に来た。とか、建物が特徴的で遠方から見に来る人がいます。聖地巡礼みたいな観光地っぽいイメージかな。(後日)とあるゲームに出てくる建物とお聞きました

Q. ジュエリーデザイナーになられた経緯は?

もともとは名古屋の大学を卒業後、新卒で大手のメーカーに勤めていましたが、自分が本当に生業としてやっていける、物づくりは何だと自問自答していました。そして自分に何ができるかを考え、ジュエリー職人になりたいという道を選択し、働いていた会社を三ヶ月後に退職しました。小さい頃から絵を描くことや「デザイン」、物を作ることが得意だったこともあり、会社を辞めてから専門学校で基礎から学び直しました。

経余曲折を経て豊田市に住んでいた頃、そこで縁あって、ジュエリーの師匠に出会い、専門学校を卒業した後は、師匠の下で学び、会社員として働きながらではありますが、腕を磨いていました。

8年の修行を経たころになると資金が貯まり、ひと

Q. ジュエリーデザイナーとしての、こだわりはありますか?

立地しようと決意し、店や工房をどこにしようか考えていました。その頃の住まいは貸店舗で、かつ古い建物だったので雨漏りとかもひどく、ジュエリーを扱える環境とは程遠かつたので、ちゃんとお客様をお迎えできる場所を持ちたい、という願望が移住を後押ししていました。

Q. 引っ越した当時のエピソードはありますか?

ここに来てびっくりしたのが、地元の人から、すぐく温かく、フレンドリーに迎えてもらえたことです。正直言って、もっと閉鎖的で、「よそ者がやつて来たぞー!」みたいな感じかと思いつきや、全然そんなことなくて、良い意味で裏切られたというか、ホッとしましたね。

近所付き合いにしても、自治会活動についても、仕事に支障が出ないよう配慮したり、自分が無理せずできる範囲で行っています。

その分、地元の人や近所の人、誰とでも挨拶します。挨拶は大事ですよ。みんな優しくて、いつも気にかけてもらつてありがたいことです。

1時間くらいですね。

Q. 交通の便はどうですか?

ほとんど移動は車かバイクです。名古屋へも45分くらいで着きます。でも、例えば名古屋駅で飲んで帰るときは養老鉄道に乗つて帰りますよ。その時でも1時間くらいですね。

Q. 海津市にはこれから何を望みますか?

良い意味で思つてたより良かつた。

Q. 移住されて2年目、振り返つていかがですか?

自然豊かなところなので、日々満喫しています。山の中腹なので夜景が素晴らしいです!

Q. 海津市にはこれから何を望みますか?

暮らしやすいので、特に不満がないです。

Q. お薦めの観光地はありますか?

若い世代が夢を持って、何事も取り組めるような暮らしのバックアップをお願いします。それと、うちの周りにクリエーターが集まる、集合住宅みたいなのができるのが理想です。にぎやかすぎるのではなくなります。(笑)

Q. 最後に、移住定住を考えている方に一言。

当店です!

就労編

ジュエリーデザイナーとして 海津で活躍中のクリエーター。 その工房に伺いました。



Q. 移住を決意するまでの葛藤は?

クリエーターでガラス職人の仲間が朝日町(三重県)に住んでいて、彼の工房が近いことが大きかったです。その彼と一緒にこの工房で作業しています。葛藤とかいうのも、自分は自身で自由な身ということもあり、特に無かつたです。実家が名古屋なのですが、そこへもすぐ帰れる距離なので心配していません。

Q. 名古屋の周辺には無かつたのですか?

似た環境はありました。作業すると音は結構遠く聞こえます。それに、車の走る音とかは、やっぱり聞こえるんで、静かで自然豊かなところを探していました。そんな中、海津でたまたま地元の不動産会社を訪ね、良い土地がないか聞いたところ、この場所を紹介してもらい、気に入つたことが決め手でした。その不動産屋さんは、土地を探している時も、市の観光案内に連れて行ってくれたり、近所の人の挨拶の仕方とか、色々アドバイスしてもらいました。その人じや無かつたら、海津に住んでなかつたかもしれません。

Q. 移住を決意するまでの葛藤は?

クリエーターでガラス職人の仲間が朝日町(三重県)に住んでいて、彼の工房が近いことが大きかったです。その彼と一緒にこの工房で作業しています。葛藤とかいうのも、自分は自身で自由な身ということもあり、特に無かつたです。実家が名古屋なのですが、そこへもすぐ帰れる距離なので心配していません。

Q. 最後に、移住定住を考えている方に一言。

当店です!



取材:2017年6月



愛知県から結婚を機に海津市へ嫁いだ奥様と、地元で農機具の販売や農作業請負などのお仕事をされている旦那様。お一人で家業を15年以上営んだからこそ分かる農業に関する地元ならではのお話を聞きました。

Q. まずはお二人の出会いは?
【旦那様】自分は海津市の、南濃町で生まれて育ちました。学生時代を名古屋で過ごし、その学校で今の奥さんと知り合い、結婚を機に実家の海津市に戻つてきました。

Q. 私は名古屋出身で、農作業とかの経験も何もないまま海津市に来ました。

Q. お仕事の内容は?
【旦那様】もともと農機具の販売と修理をしていたということもあり、農家さんから田んぼの耕作依頼を請け、農作業を行っています。具体的には、高齢のため耕作ができなくなり、田んぼをそのまましておきたくないという方からの依頼です。他には、農家さんから畑をお借りして野菜なども作っています。そつこうして15年ほど経ちました。

Q. 農作業は大変ですか?
【旦那様】海津市の田んぼは結構広いので、苗を手で植えるとかは出来なくて農機具を使います。機械を使って一気にガートって行いますので、手作業よりも大変ではないですが、拘りを持ってやっています。

Q. 拘っていることは?
【旦那様】当たり前なことです、丁寧にきちんと作業をしています。

Q. 農作業は大変ですか?
【旦那様】当たり前なことです、丁寧にきちんと作業をしていました。主な農作業として、苗を植え、お米を収穫し、玄米の状態にしてお渡しするまでを行っていますが、農家さんはやっぱり自分の田んぼのお米が、一番美味しいと思っているので、農家さん同士のお米が混ざらないよう気を使っています。同じお米のように感じるかもしれません、やっぱり違うんです。

二人とも、お米を検査できる資格と設備を持つていますので、品質・安全面でも自信を持っています。

これがあなたの田んぼで採れたお米ですよ。つて。

Q. お仕事の内容は?
【旦那様】例えばお米を作る場合、機械や資材を購入するための初期投資がかなり必要です。また耕作する田んぼについても、既に大規模経営をされている生産者が大半なので、新しくまとまった農地を借りることは難しいと思います。

私がお勧めしたいのは、「まずは家庭菜園で自分たちの食べる分の野菜を作る。」というぐらいスタートするのがいいかと思います。売る方法としては道の駅に持つて行ったり、ネットで売つたりするなど選択肢があります。

いきなり仕事として農業をやるというよりは、家庭菜園でノウハウや人脈を作つてからスタートしてもらいたいんじゃないかと思っています。

Q. 地域の付き合いはどうですか?
【奥様】みんな優しくて穏やかな性格です。例えば田んぼで作業していると、知らないおじいちゃんが普通に話しかけてきたりします。それ違う人はみんな挨拶をしてくれるので、こちらも自然に挨拶します。

方言は年配の方がほとんどですが、海津(南濃町)が三重に近いので、関西弁かと思いまや岐阜弁といふか海津弁みたいなのがあるみたいですね。

Q. 地域の付き合いはどうですか?
【奥様】みんな優しくて穏やかな性格です。例えば田んぼで作業していると、知らないおじいちゃんが普通に話しかけてきたりします。それ違う人はみんな挨拶をしてくれるので、こちらも自然に挨拶します。

Q. 海津市には、こうなって欲しいとかの希望はありますか?
【奥様】比較的狭い田んぼを用意してもらい、田植え体験とかのイベントがあるといいなと思います。市外や県外からも農作業を体験したい人がいると思うので、手植えや稻刈りとか、みんなでやると楽しいと思います。

海津市出身の旦那様と、名古屋から嫁いできた奥様。地元目線でのお話をいろいろお聞きしました。

地元編



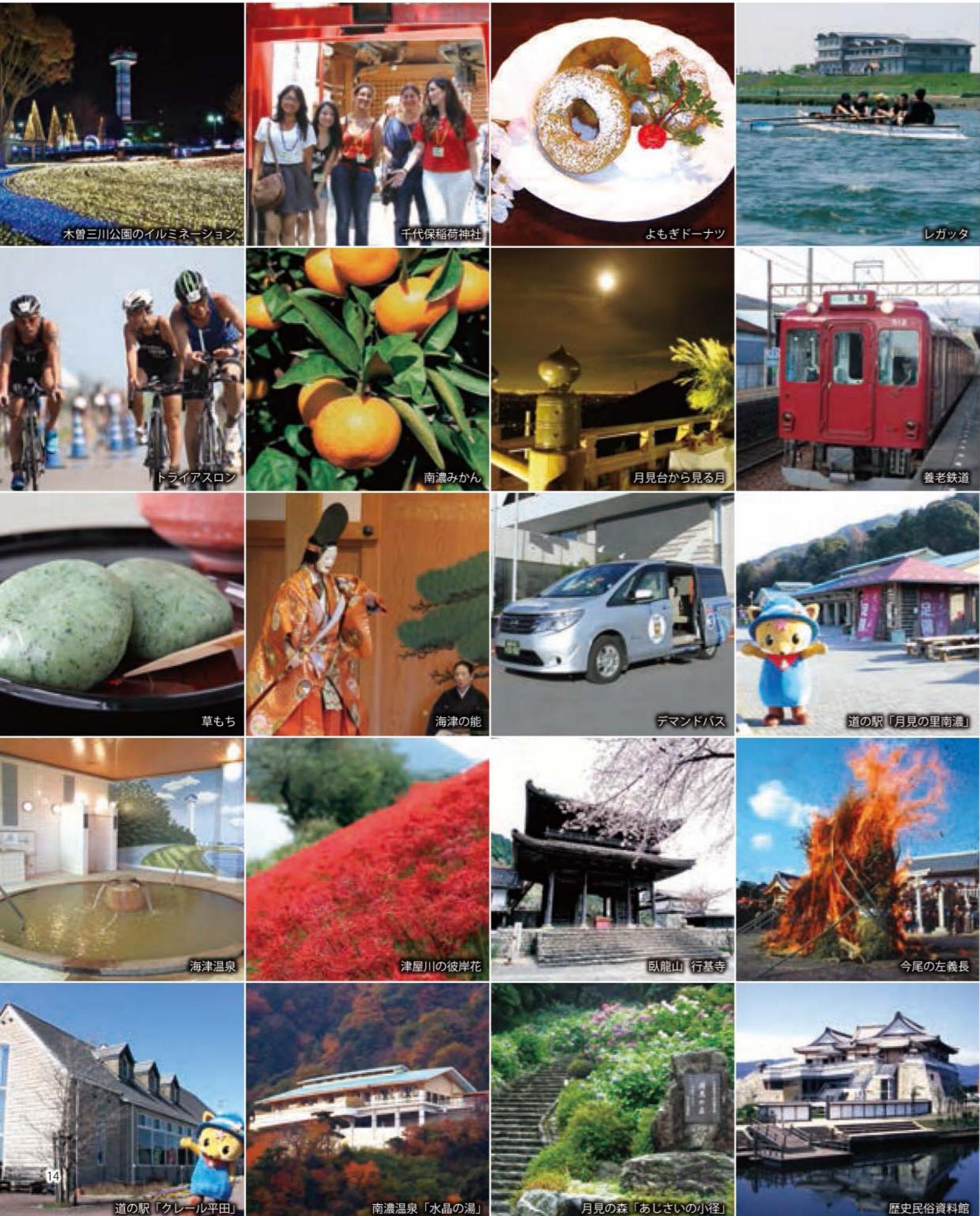
取材:2017年6月





かいづ

こんにちは！海津の魅力を写真で紹介します。



かいづっちゃん

無料アプリ COCOARをダウンロードして上の画像を
スキャンすると、海津市の紹介動画が見られるよ！

画像が魔法のように動き出す！

COCOAR
ココアル

(一財)海津市観光情報センター

海津市公式
Facebook



Facebookとブログもチェックしてみてね！

職員ブログ
「かいづ、つーかい日記」





海津市って、海がないのに 「海」の字がある！何故？

A 海が無い県、岐阜県の海津市で、なぜ「海」という文字が使われているのか、ちょっと不思議ですよね。その由来は実際のところ、所蔵の文献には詳細な記載がなされておりません。今回諸説ある中の一つから、海津市名前の由来と歴史を、簡単なストーリーにしてご紹介します。

はじまりは、縄文時代まで遡ります。海津市の平野部分は当時、伊勢湾が侵入していたため海でした。その周辺に海に適した生活を営んでいた集落が存在しており、現在でも遺跡が残っています。庭田貝塚、羽沢貝塚です。「海」には昔から縁があったのですが、文字にはまだ「海」が使われていません。

そのなぞを紐解くには、そこから平安時代まで時間が進みます。尾張国海部郡（現在の愛知県あま市）が東西に分かれ、海東郡と海西郡が誕生しました。その後遭った木曽川の大洪水で、今まで美濃国と尾張国の境になっていた木曽川が、川の流れの変化で海西郡の中央まで移動してしまいました。川境で国を分けていたため、海西郡の一部（川の西側）が美濃国になったと言われています。

明治時代になると、愛知県海西郡、岐阜県海西郡として行政区画して発足することになります。後に岐阜県海西郡と石津郡が合併した際、海西郡の「海」と石津郡の「津」から一字取って、海津郡が誕生しました。「海津」の誕生です。

「津」の漢字についても調べてみました。津という地名は、もともと海岸・河岸の船舶が来着する船着き場や、その町を意味しているそうです。ちなみに、石津郡の「石津」は、石を積み上げた伊勢湾の湊（水門）のことを指すそうです。

このように、もともと地名に海があった愛知県海部郡が分かれ海西郡となり、そこから更に分かれて岐阜に編入し、地名に海が付いたまま岐阜県海西郡となつた。と言われ、海津郡を経て現在の海津市へと繋がっていくことになったのです。内陸県の岐阜県で海の字が付いた、大珍しい地名があるのは、このような歴史があったと言われています。

海津市の漢字、「海」と「津」の両方とも、「水」が関わっています。歴史に思いを馳せて地名を読み解くと、輪中の歴史も含め、古代から永く水と共に過ごしてきた土地であることが伺い知れます。海津市の由来だけでなく、市内の他の地名からも、水をキーワードにした歴史と人々の暮らしを見えるかもしれません。海が無いのに海がある「海津」。皆様のお越しをお待ちしております。



■ 海津市ホームページQRコードリンク集

携帯・スマートフォンで読み取ってアクセスして下さい。



子育てについて

<http://www.city.kaizu.lg.jp/life-guide/child-rearing/>
海津が行う子育て支援の内容や、市内の保育園・幼稚園・認定こども園、小・中学校の情報を掲載しています。



暮らしについて

<http://www.city.kaizu.lg.jp/life-guide/life/>
住宅、ゴミ、上下水道など、海津で暮らす際に必要な情報のほか、海津市内の公園についても紹介しています。



移住定住について

<http://www2.city.ogaki.lg.jp/nishimino-mannakagurasi/jichitai/kaizu.html>
海津で暮らす際に受けられる行政支援一覧を掲載しています



福祉・健康について

<http://www.city.kaizu.lg.jp/life-guide/welfare-health/>
各検診のお知らせ、高齢者や障がい者への介護・サポート、母子・父子家庭への生活援護などの情報を掲載しています。

学ぶ・楽むについて

<http://www.city.kaizu.lg.jp/life-guide/learns-play/>
生涯学習講座やスポーツ教室、海津市の各種施設や、海津の歴史や文化財などについての情報を掲載しています。



お問い合わせ

海津市企画財政課 TEL:0584-53-1113

〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須515番地

Mail:kikakualsei@city.kaizu.lg.jp <http://www.city.kaizu.lg.jp/>

掲載内容のインタビューは取材当時のもので、現在の内容と異なる場合があります。また、個人の感想が含まれている場合もあります。詳細の確認は海津市HP、または海津市役所：電話0584-53-1111でご確認ください。